

News Release

2020年11月6日
N I T E (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
法人番号 9011005001123

自動車の安全性の確保に認定が貢献

～安全性試験で用いられる加速度計の校正事業者をN I T E が認定～

N I T E (ナイト) [独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原] は、2020年11月6日、株式会社共和電業を、加速度計の校正事業者として国内で初めて(※1) 認定しました。

加速度計は、自動車の安全性試験で用いられる重要な計測器であり、今回の認定に基づいて校正された加速度計を用いることにより、日本の自動車メーカーが行う安全性試験の信頼性が向上します。

1. 衝突、操縦安定、横滑り防止などの安全性試験は、自動車の性能を評価する上で重要な項目で、特に、衝撃や横方向の移動で車体が受ける加速度の大きさを測定する加速度計の正確さが重要な鍵となります。こういった状況は、自動走行や空飛ぶ自動車の技術進展とともに益々高まることが予想されます。

2. この安全性試験で用いられる加速度計の正確さは、これまで自動車メーカー自身により保証されていましたが、近年、品質要求の高まりにより、海外輸出時には、国際標準である ISO/IEC 17025 (※2) に基づく認定を受けた校正事業者により保証されることが求められています。

3. このような背景を踏まえて、N I T E は、2020年11月6日、自動車の安全性試験で用いられる加速度計の校正事業者として、「株式会社共和電業」の品質管理本部標準器室を、ISO/IEC 17025 に基づき国内で初めて認定しました。

4. 今後、同社が認定に基づいて発行する加速度計の校正証明書は、より高い信頼性が確保されていることの証明となり、その加速度計の校正結果に基づいて国内の自動車メーカーが実施する安全性試験の信頼性の確保に貢献します。また、海外に輸出する際でも、ISO/IEC 17025 で認定を受けた校正事業者により校正された加速度計を用いていることを容易に証明でき、安全性試験の結果の受入れが加速されることが期待されます。

(※1) 日本の自動車メーカーが衝突安全性などの安全性試験に用いる加速度計の校正方法である、ISO 16063-17:2016 (振動及び衝撃トランスデューサの校正方法—第 17 部 遠心による 1 次校正) で加速度計の校正を行う校正事業者として国内で初めて認定。

(※2) ISO/IEC17025 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項

衝突安全



(出典) 独立行政法人自動車事故対策機構

(https://www.nasva.go.jp/mamoru/assessment_car/crackup_test.html)

横滑り防止



(出典) Web Cartop (<https://www.webcartop.jp/2017/07/132201/2/>)

(参考) A S N I T E 認定情報のお知らせURL

https://www.nite.go.jp/iajapan/asnite/information/info_asnite_20201106_C.html

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構

電話：03-3481-8242

メールアドレス：jcss@nite.go.jp

認定センター所長 岸本 勇夫

担当者 大高、剣持

FAX：03-3481-1937